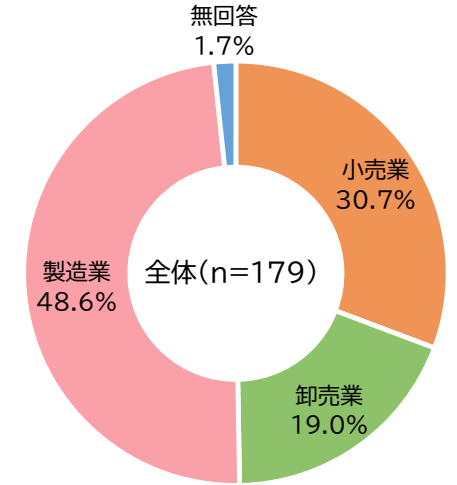


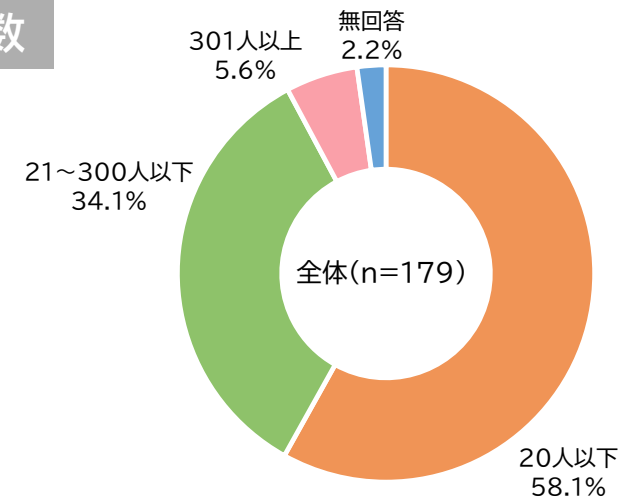
群馬県食環境づくり実態調査結果 概要①

調査目的	県民が自然と健康になれる食環境づくりを推進するにあたり、県内企業の実態や課題を把握し、食環境づくりを推進するための基礎資料を得ることを目的として実施した。
調査対象	県内に住所を有する事業者 600社 (食料品の製造業、卸売業、小売業)
調査期間	令和7年11月7日～11月21日
回答数	179社
調査項目・設問数	調査項目は、減塩の取組の実施状況、栄養バランスに配慮した取組の実施状況、プロジェクト参画等の17問。
回答企業属性	回答企業の業種は製造業が48.6%と最も多く、従業員規模は20人以下の企業が58.1%と最多であった(右図のとおり)。

業種



従業員数



群馬県食環境づくり実態調査結果 概要②

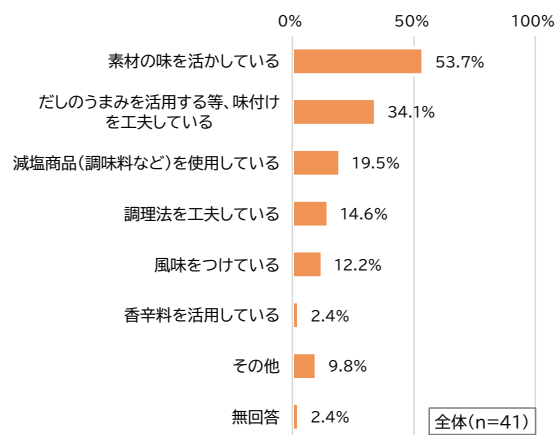
減塩の取組

- 通常商品、あるいは過去の商品と比較して減塩または塩分控えめな商品を製造・販売・提供している事業者は約3割。
- 減塩商品を製造するうえでの工夫は、「素材の味を活かしている」の最も割合が高く、半数以上の事業者で実施。
- 課題では「おいしさを維持することが難しい」の割合が最も高く、約3割。
- 取組を始めたきっかけは「消費者意識の高まり」の割合が最も高く、次いで「消費者からの要望」、「取引先企業からの要望や提案」であった。

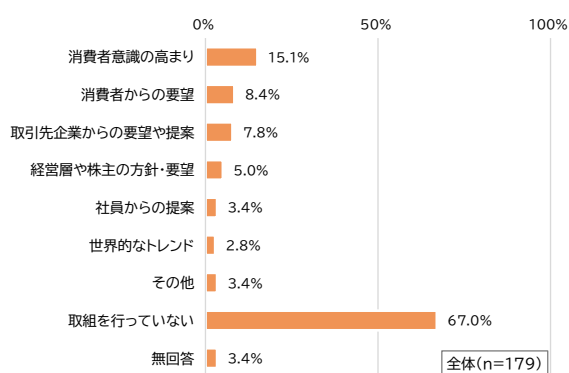
栄養バランスに配慮した取組

- 栄養バランスに配慮した取組を行っている事業者は約2割。
- 課題では「販売価格が高くなる」の割合が最も高く約2割。
- 取組を始めたきっかけは「消費者意識の高まり」の割合が最も高く、次いで「取引先企業からの要望や提案」、「消費者からの要望」であった。

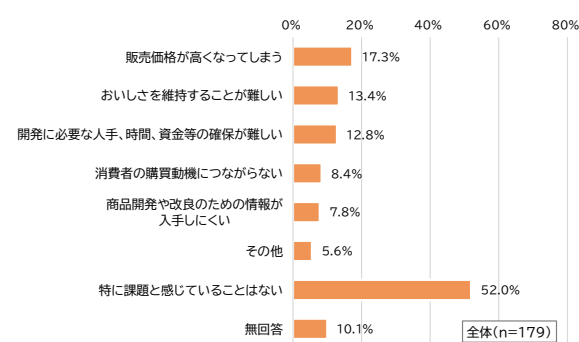
製造の工夫



取組のきっかけ



取組の課題



取組のきっかけ

